

## 本邦 LCC 初！エアバス A320neo がまもなく就航

- ・ 本邦航空会社初となる新世代エンジン LEAP-1A 採用で約 20%の燃費向上
- ・ Space-Flex オプションの採用により従来機より 8 席増の 188 席仕様を実現
- ・ プレリクライニングシート採用で着席時の快適性を追求

Peach Aviation 株式会社(以下:Peach、代表取締役 CEO:森 健明)は、エアバス A320neo の初号機がフランス、トゥールーズからのデリバリーフライトを経て、昨晚、関西空港に到着したことを発表しました。



関西空港に到着した A320neo 初号機(2020年9月29日)

Peach では、本邦 LCC として初めて A320neo を就航させます。エンジンは本邦航空会社では初となる CFM インターナショナル社製の新世代エンジン「LEAP-1A」を採用しており、整備部門の慣熟訓練など安全運航への準備を万全に整え、初就航は 2020 年ウインターダイヤ期初 10 月 25 日を予定しています\*1。同機の就航により機材数は 32 機となります。

A320neo は新世代エンジンやシャークレット(大型の翼端板)の採用により従来機 A320ceo に比べ約 20%の燃費向上\*2を実現します。また、客室レイアウトを変更できる Space-Flex オプションの採用により、従来機と同等の座席スペースを保ちつつも 8 席多いモノクラス 188 席仕様を実現しました。また、24 号機(JA824P/2019 年 3 月就航)より導入し定評のあるレカロ社製プレリクライニングシートを引き続き採用し、着席時の快適性を確保しています。

当面、大阪(関西)、仙台、札幌(新千歳)を結ぶ定期便での運用を予定しています。Peach では、10 月 25 日より札幌(新千歳)、仙台ー沖繩(那覇)線の新規開設および運休中\*3 の大阪(関西)、東京(羽田/成田)ー台北(桃園)線の運航再開を予定しており、これらの路線にも順次同機が投入されます。

\*1: なお、当該機材の登録番号は「JA201P」を予定しております

\*2: 燃費効率はエアバス社公表値

\*3: 新型コロナウイルス感染拡大の影響により 2020 年 3 月より運休中

#### **Peach について([www.flypeach.com](http://www.flypeach.com))**

Peach は、2012 年 3 月に関西空港を拠点として運航を開始しました。現在、関西空港に加え、新千歳空港、仙台空港、成田空港、福岡空港、那覇空港を拠点空港とし、32 機の機材で、国内線 24 路線、国際線 17 路線に就航しています。また、「アジアのリーディング LCC」を目指し、首都圏および関西を中心に各地からの路線網を拡大しています。なお、成田空港では 10 月 25 日より乗り入れターミナルを第 3 ターミナルより第 1 ターミナルに移転します。